

キンカン「宮崎夢丸」の剪定方法の違いが新梢発生と着果に与える影響

切り返し剪定により新梢が適度に配置され、樹齡が経つと着果が安定します。

背景・目的

- 「宮崎夢丸」は、宮崎県が育成したオリジナル品種で、糖度が高く、種のない食べやすいキンカンです。三倍体で樹勢が強く、長く強い枝が発生すると実がなりにくくなります。
- キンカンの一般的な管理法である輪状芽の直上での間引き剪定では、枝の先端から発生した新梢が重みで下垂し、樹形の乱れに繋がります。
- 長い結果母枝を切り返すことによる新梢の発生状況やその枝の着果特性について明らかにしました。

成果の内容

- 切り返し剪定により、無剪定枝や輪状芽剪定よりも新梢の発生数は多く、先端からの発生位置が離れ、ばらついた枝の配置となります(表1、表2、図1)。
- 切り返し剪定により、発生した新梢への着花は無剪定または輪状芽剪定よりも1番花の着果率は高くなる傾向があります。また、最終着果数は同等以上となります(表3)。

表1 「宮崎夢丸」の剪定の有無による新梢発生状況(2020年)

試験区	結果母枝長 (cm)	節数 (個)	枝先端からの発生位置 ² (cm)	発生数 (本/枝)	新梢長 (cm)	葉数 (枚)
切り返し剪定区	14.0	7.6	3.1	4.3	13.8	8.9
無剪定区	15.5	9.9	1.3	3.7	11.7	8.0
有意性 ¹⁾	n.s.	**	**	n.s.	*	*

²枝先端からの発生位置は3本の樹の結果母枝10本に発生した新梢での平均値
¹検定にて異英文字間に有意差(*はP<0.05、**はP<0.01)を示す。n.s.はなし。

表2 「宮崎夢丸」の剪定の違いによる新梢発生状況(2021年)

試験区	剪定前の枝長 (cm)	剪定後の枝長 (cm)	先端からの発生位置 ² (cm)	平均新梢長 (cm)	発生数 (本)	未発生枝割合 (%)
切り返し剪定区	24.5	15.2	2.6	15.9	2.9	0.0
輪状芽剪定区	20.1	0	0.7	14.1	1.4	20.0
有意性 ¹⁾	-	-	**	n.s.	**	-

²枝先端からの発生位置は3本の樹の結果母枝10本に発生した新梢での平均値
¹検定にて異英文字間に有意差(**はP<0.01)を示す。n.s.はなし。



図1 剪定の違いによる結果枝の発生状況
左:無剪定 右:切り返し剪定 赤が剪定位置

表3 「宮崎夢丸」の剪定の違いによる着花・着果への影響

年度	試験区	結果枝長 (cm)	節数 (個)	1番花 満開日6/9			2番花 満開日7/8			3番花 満開日8/5			4番花 満開日8/20			最終着果数/枝 (個)
				着花数 (個)	着果数 (個)	着果率 (%)	着花数 (個)	着果数 (個)	着果率 (%)	着花数 (個)	着果数 (個)	着果率 (%)	着花数 (個)	着果数 (個)	着果率 (%)	
2020年	切り返し剪定区	15.5	10.2	7.0	1.1	16	2.6	0.5	19	14.9	0.7	5	4.0	0.7	17	3.0
	無剪定区	13.3	10.2	9.1	1.2	13	2.6	0.3	12	13.2	0.4	3	3.6	1.1	30	3.0
2021年	切り返し剪定区	15.1	11.0	6.4	0.5	8	2.6	0.0	0	10.8	0.7	7	5.0	0.3	5	1.3
	輪状芽剪定区	16.8	11.3	5.0	0.3	5	3.2	0.0	0	11.3	0.5	5	3.7	0.2	5	0.9

注)着花は剪定を行った調査枝に発生した新梢10本を用いた。

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 早期普及のために、展示ほの設置や栽培指導資料および栽培マニュアルによる指導に活用します。
- キンカン「宮崎夢丸」の剪定方法として定着することで安定生産につながります。

留意点

- 樹齡または樹勢によっては着果数が少なくなることもあるため、輪状芽剪定と切り返し剪定を組み合わせます。

関連研究成果カード：2022年後期 番号10

関連事業名：気候変動の影響評価と適応のための果樹栽培技術の確立(県単)

研究期間：2020年～2022年